



みなさん、こんにちは!アビーです。3月になってもまだまだ寒いですね。3月といえば日本では卒業のシーズンですが、カナダは違います。他にも日本とカナダの学校ではたくさんの違いがあるので今回は皆さんにカナダの学校について紹介したいと思います。



カナダの学校

カナダの学校の科目はそれぞれの州によって決められています。ですから、カナダの子どもたちは全員が同じような学校の経験をするわけではありません。これからカナダにある13の州のうちの1つで私のふるさとであるマニトバ州の学校について紹介します。

マニトバ州の義務教育は6歳から始まります。幼稚園への通園は任意となっています。小学校の1年生から4年生までを“低学年”、5・6年生と中学校1・2年生を合わせて“中学年”、中学校3年生と高校生を合わせて“高学年”と呼びます。学年の呼び方は小学校1年生がグレード1となり、高校3年生のグレード12となります。

カナダでは小学校と中学校が1つの建物となっていることが多いです。高校は日本のように分かれています。

| | 小学校 | | | | | | 中学校 | | | 高校 | | |
|-----|----------------------|-------|-------|-------|---------------------------|-------|-------|-------|----------------------|--------|--------|--------|
| 日本 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 1年生 | 2年生 | 3年生 |
| | Early Years (小学校) | | | | Middle Years (小学校/中学校) | | | | Senior Years (高校) | | | |
| カナダ | グレード1 | グレード2 | グレード3 | グレード4 | グレード5 | グレード6 | グレード7 | グレード8 | グレード9 | グレード10 | グレード11 | グレード12 |
| | 6 - 10 歳 | | | | 10 - 14 歳 | | | | 14 - 18 歳 | | | |



入 学

カナダの公立学校教育はすべての子どもが無料となっています。マニトバ州では学校は18歳までが義務教育となっています。ですから、小学校から高校までが無料となっています。ほとんどの児童生徒は最寄りの学校に通います。学校は入学者数に応じた補助金を国から受け取ることができます。なので、大きな学校ほど授業やサービスの質が良いです。

授業料に加えて、教科書や楽器なども学校からすべて提供されます。しかし、教科書は学期始めに学校から貸し出されて家に持ち帰ることもできますが、学期の終わりに返却しなければなりません。マニトバ州の学校では入学試験や進級試験がありません。次の学年に進むには前の学年での成績が重要になります。高校生がほとんどですが、進級できないなんてこともしばしばあります。

課 程

課程は大きく分けて4つあります。1つめは英語です。この課程はすべての授業が英語で行われます。2つめはフランス語で、授業はフランス語で行われます。3つめは、フランス語と英語のミックスです。最後の1つが、高校でのみ実施される技術教育です。主に職業訓練を行います。このようにカナダでは、学術科目の授業と実技科目の授業があります。それぞれの課程で卒業の要件はほとんど同じですが、教え方が違います。

カナダの学校は9月に始業式があつて、6月に終業式があり一年が終わります。

■お問い合わせ 教育委員会教育課 総務グループ

☎4-2511内線513 ☆4-251111

